



ログファイル参照 StorageGRID 11.8

NetApp
March 19, 2024

目次

ログファイル参照.....	1
ログファイルリファレンス：概要.....	1
StorageGRID ソフトウェアのログ.....	3
導入とメンテナンスのログ.....	9
サードパーティソフトウェアのログ.....	10
bycast.log について.....	11

ログファイル参照

ログファイルリファレンス：概要

StorageGRID には、イベント、診断メッセージ、およびエラー状態をキャプチャするために使用されるログが用意されています。テクニカルサポートにトラブルシューティングを依頼すると、ログファイルを収集して転送するように求められることがあります。

ログは次のように分類されます。

- "StorageGRID ソフトウェアのログ"
- "導入とメンテナンスのログ"
- "サードパーティソフトウェアのログ"
- "bystream.log について"



各ログタイプの詳細情報は参考用です。これらのログは、テクニカルサポートが高度なトラブルシューティングに使用することを目的としています。監査ログやアプリケーションログファイルを使用して問題の履歴を再構築する高度な手法については、この手順では説明していません。

ログにアクセスします

ログにアクセスするには、次の手順を実行します "ログファイルとシステムデータを収集します" 1つ以上のノードから単一のログファイルアーカイブとしてアーカイブ。または、プライマリ管理ノードを使用できない場合や特定のノードに到達できない場合は、次の手順で各グリッドノードの個別のログファイルにアクセスできます。

1. 次のコマンドを入力します。 `ssh admin@grid_node_IP`
2. に記載されているパスワードを入力します Passwords.txt ファイル。
3. 次のコマンドを入力してrootに切り替えます。 `su -`
4. に記載されているパスワードを入力します Passwords.txt ファイル。

ログファイルのカテゴリ

StorageGRID ログファイルアーカイブには、カテゴリごとに説明されているログ、およびメトリックと debug コマンドの出力が含まれている追加ファイルが含まれています。

アーカイブの場所	説明
監査	通常のシステム動作中に生成される監査メッセージです。
base-os-logs	StorageGRID イメージのバージョンなど、ベースとなるオペレーティングシステムの情報。

アーカイブの場所	説明
バンドル	グローバル構成情報（バンドル）。
Cassandra	Cassandra データベース情報と Reaper 修復ログ。
EC	現在のノードに関するVCS情報と、プロファイルIDによるECグループ情報。
グリッド（Grid）	デバッグを含む一般的なグリッドログ (bycast.log) および servermanager ログ。
grid.xml	グリッド構成ファイルをすべてのノードで共有
シュラウド	ハイアベイラビリティグループの指標とログ。
をインストールします	Gdu-server インストールログを確認します。
lumberjack.log	ログ収集に関連するデバッグメッセージ。
Lambda - アービトレータ	S3 Select プロキシ要求に関連するログです。
指標	Grafana、Jaeger、ノードエクスポータ、および Prometheus のサービスログ。
計算ミス	Miscd アクセスログとエラーログ。
MySQL	MariaDB データベースの設定と関連ログ。
ネット	ネットワーク関連のスクリプトおよび Dyip サービスによって生成されるログ。
nginx	ロードバランサとグリッドフェデレーションの設定ファイルとログ。Grid Manager と Tenant Manager のトラフィックログも含まれます。
nginx-gw と入力します	ロードバランサとグリッドフェデレーションの設定ファイルとログ。
NTP	NTP 構成ファイルとログ：
OS	ノードとグリッドの状態ファイル（サービスを含む） pid。
その他	にログファイルがあります /var/local/log 他のフォルダには収集されていません。
パフォーマンス	CPU、ネットワーク、ディスク I/O のパフォーマンス情報

アーカイブの場所	説明
prometheus-data	ログ収集に Prometheus データが含まれている場合、現在の Prometheus 指標。
プロビジョニング	グリッドのプロビジョニングプロセスに関連するログです。
ラフト	プラットフォームサービスで使用される Raft クラスタのログ。
SSH	SSHの設定およびサービスに関連するログ。
SNMP	SNMP エージェント設定およびアラーム許可 / 拒否リストは、SNMP 通知の送信に使用されます。
ソケット - データ	ネットワークデバッグ用のソケットデータ。
system-commands.txt	StorageGRID コンテナコマンドの出力。ネットワークやディスクの使用状況などのシステム情報が含まれます。

StorageGRID ソフトウェアのログ

StorageGRID のログを問題のトラブルシューティングに使用できます。



ログを外部syslogサーバに送信したり、監査情報の保存先を変更したりする場合（など）`bycast.log` および ``nms.log`` を参照してください "[監査メッセージとログの送信先を設定します](#)"。

一般的な StorageGRID ログです

ファイル名	注：	にあります
<code>/var/local/log/bycast.log</code>	プライマリ StorageGRID トラブルシューティングファイル。サポート * > * ツール * > * グリッドトポロジ * を選択します。次に、 [Site>*Node*>SSM*>Events] を選択します。	すべてのノード
<code>/var/local/log/bycast-err.log</code>	のサブセットが含まれます <code>bycast.log</code> (ERRORとCRITICALの重大度のメッセージ)。クリティカルなメッセージはシステムにも表示されます。サポート * > * ツール * > * グリッドトポロジ * を選択します。次に、 [Site>*Node*>SSM*>Events] を選択します。	すべてのノード

ファイル名	注：	にあります
/var/local/core/	<p>プログラムが異常終了した場合に作成されるコアダンプファイルが格納されます。原因としては、アサーションエラー、違反、スレッドのタイムアウトなどが考えられます。</p> <p>注：ファイル `/var/local/core/kexec_cmd` 通常はアプライアンスノードに存在し、エラーを示しているわけではありません。</p>	すべてのノード

暗号関連のログ

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/ssh-config-generation.log	SSH設定の生成およびSSHサービスのリロードに関連するログが記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/nginx/config-generation.log	nginx構成の生成とnginxサービスのリロードに関連するログが記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/nginx-gw/config-generation.log	nginx-gw構成の生成（およびnginx-gwサービスのリロード）に関連するログが記録されます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/update-cipher-configurations.log	TLSおよびSSHポリシーの設定に関連するログが記録されます。	すべてのノード

グリッドフェデレーションログ

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/update (grid_federation_config.log)	グリッドフェデレーション接続用のnginx構成とnginx-gw構成の生成に関連するログが記録されます。	すべてのノード

NMS ログ

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/nms.log	<ul style="list-style-type: none"> • Grid Manager と Tenant Manager からの通知が記録されます。 • アラーム処理、Eメール通知、設定の変更など、NMS サービスの処理に関連するイベントが記録されます。 • システムで行われた設定の変更に伴う XML バンドルの更新が格納されます。 • 1日に1回実行される属性のダウンサンプリングに関連するエラーメッセージが格納されます。 • ページ生成エラーや HTTP ステータス 500 エラーなど、Java Web サーバのエラーメッセージが格納されます。 	管理ノード
/var/local/log/nms.errlog	<p>MySQL データベースのアップグレードに関連するエラーメッセージが格納されます。</p> <p>対応するサービスの標準エラー（stderr）ストリームが格納されます。サービスごとに1つのログファイルがあります。これらのファイルは、サービスに問題がなければ通常は空になります。</p>	管理ノード
/var/local/log/nms.requestlog	管理 API から内部 StorageGRID サービスへの発信接続に関する情報が含まれます。	管理ノード

Server Manager のログです

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/servermanager.log	サーバで実行されている Server Manager アプリケーションのログファイルです。	すべてのノード
/var/local/log/GridstatBackend.errlog	Server Manager GUI バックエンドアプリケーションのログファイルです。	すべてのノード
/var/local/log/gridstat.errlog	Server Manager GUI のログファイルです。	すべてのノード

StorageGRID サービスのログ

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/acct.errlog		ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/adc.errlog	対応するサービスの標準エラー（stderr）ストリームが格納されます。サービスごとに1つのログファイルがあります。これらのファイルは、サービスに問題がなければ通常は空になります。	ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/ams.errlog		管理ノード
/var/local/log/arc.errlog		アーカイブノード
/var/local/log/cassandra/system.log	メタデータストア（Cassandra データベース）の情報。新しいストレージノードの追加時に問題が発生した場合、または nodetool repair タスクが停止した場合に使用できます。	ストレージノード
/var/local/log/cassandra-reaper.log	Cassandra Reaper サービスの情報。Cassandra データベース内のデータの修復を実行します。	ストレージノード
/var/local/log/cassandra-reaper.errlog	Cassandra Reaper サービスのエラー情報。	ストレージノード
/var/local/log/chunk.errlog		ストレージノード
/var/local/log/cmn.errlog		管理ノード
/var/local/log/cms.errlog	このログファイルは、古いバージョンの StorageGRID からアップグレードされたシステムに存在する場合があります。古い情報が含まれています。	ストレージノード
/var/local/log/cts.errlog	このログファイルは、ターゲットタイプが * Cloud Tiering - Simple Storage Service（S3）.* の場合にのみ作成されます	アーカイブノード
/var/local/log/dds.errlog		ストレージノード
/var/local/log/dmv.errlog		ストレージノード

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/dynip *	グリッドで IP の動的な変更を監視してローカル設定を更新する dynip サービスに関連するログが記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/grafana.log	Grid Manager で指標を視覚化するために使用される Grafana サービスに関連付けられたログ。	管理ノード
/var/local/log/hagroups.log	ハイアベイラビリティグループに関連付けられているログ。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/hagroups (events.log)	バックアップからマスターまたは障害への移行など、状態の変化を追跡します。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/idnt.errlog		ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/jaeger.log	Jaeger サービスに関連付けられたログ。これは、トレース収集に使用されます。	すべてのノード
/var/local/log/kstn.errlog		ADC サービスを実行しているストレージノード
/var/local/log/lambda *	S3 Select サービスのログが記録されません。	管理ノードとゲートウェイノード このログは特定の管理ノードとゲートウェイノードにのみ記録されます。を参照してください " S3 Select の管理ノードとゲートウェイノードの要件と制限事項 "。
/var/local/log/ldr.errlog		ストレージノード
/var/local/log/miscd/*。log	MISCd (Information Service Control Daemon) サービスのログが記録されます。このサービスは、他のノード上のサービスの照会と管理、およびノードの環境設定の管理 (他のノードで実行されているサービスの状態の照会など) を行うためのインターフェイスを提供します。	すべてのノード

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/nginx/*。log	nginx サービスのログが記録されます。このサービスは、各種のグリッドサービス（Prometheus や dynip など）が HTTPS API を介して他のノード上のサービスと通信できるようにするための、認証とセキュアな通信のメカニズムとして機能します。	すべてのノード
/var/local/log/nginx-gw/*。log	nginx-gwサービスに関連する一般的なログ（エラーログ、管理ノード上の制限された管理ポートのログなど）が記録されます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/nginx-gw/cgr-access.log 。gz	グリッド間レプリケーショントラフィックに関連するアクセスログが記録されます。	グリッドフェデレーション設定に応じて、管理ノード、ゲートウェイノード、またはその両方を選択します。グリッド間レプリケーションのデステイネーショングリッドでのみ検出されます。
/var/local/log/nginx-gw/endpoint-access.log。gz	クライアントからストレージノードへのS3およびSwiftトラフィックのロードバランシングを提供するロードバランササービスのアクセスログが記録されます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/persistence *	Persistence サービスのログが記録されます。このサービスは、リブート後も維持する必要があるルートディスク上のファイルを管理します。	すべてのノード
/var/local/log/prometheus.log	すべてのノードを対象に、node exporter サービスのログと ade-exporter サービスのログが記録されます。 管理ノードについては、Prometheus サービスと Alert Manager サービスのログも記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/raft.log	RSM サービスで Rraft プロトコルに使用されるライブラリの出力が含まれます。	RSM サービスを搭載しているストレージノードです

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/rms.errlog	S3 プラットフォームサービスで 사용되는 Replicated State Machine (RSM) サービスのログが記録されます。	RSM サービスを搭載しているストレージノードです
/var/local/log/ssm.errlog		すべてのノード
/var/local/log/update-s3vs - domains.log	S3 仮想ホストドメイン名設定の更新の処理に関連するログが記録されます。S3 クライアントアプリケーションを実装する手順を参照してください。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/update-snmp-firewall *	SNMP 用に管理されているファイアウォールポートに関連するログが記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/update-syslog	システムの syslog 設定に対する変更に関連するログが記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/update-traffic-classes.log	トラフィック分類子設定の変更に関連するログが含まれます。	管理ノードとゲートウェイノード
/var/local/log/update-utcn.log	このノードでの「信頼されていないクライアントネットワーク」モードに関連するログが記録されます。	すべてのノード

関連情報

["bicast.log について"](#)

["S3 REST APIを使用する"](#)

導入とメンテナンスのログ

導入とメンテナンスのログを問題のトラブルシューティングに使用できます。

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/install.log	ソフトウェアのインストール時に作成されます。インストールイベントが記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/expansion-progress.log	拡張処理中に作成されます。拡張イベントが記録されます。	ストレージノード
/var/local/log/pa-move.log	の実行中に作成されます pa-move.sh スクリプト：	プライマリ管理ノード

ファイル名	注：	にあります
/var/local/log/pa-move-new (pa.log)	の実行中に作成されます pa-move.sh スクリプト：	プライマリ管理ノード
/var/local/log/pa-move-old (pa.log)	の実行中に作成されます pa-move.sh スクリプト：	プライマリ管理ノード
/var/local/log/gdu-server.log	GDU サービスによって作成されます。プライマリ管理ノードによって管理されるプロビジョニングとメンテナンスの手順に関連するイベントが記録されます。	プライマリ管理ノード
/var/local/log/send (admin_hw.log)	インストール時に作成されます。プライマリ管理ノードとの通信に関連するデバッグ情報が記録されます。	すべてのノード
/var/local/log/upgrade.log	ソフトウェアのアップグレード中に作成されます。ソフトウェア更新イベントが記録されます。	すべてのノード

サードパーティソフトウェアのログ

サードパーティソフトウェアのログを問題のトラブルシューティングに使用できます。

カテゴリ	ファイル名	注：	にあります
アーカイブ	/var/local/log/dsierror.log	TSM クライアント API のエラー情報。	アーカイブノード
MySQL	/var/local/log/mysql.err /var/local/log/mysql-slow.log	MySQL によって生成されるログファイルです。 mysql.err データベースのエラーや、起動やシャットダウンなどのイベントをキャプチャします。 mysql-slow.log (スロークエリログ) には、実行に10秒以上かかったSQLステートメントが記録されます。	管理ノード
オペレーティングシステム	/var/local/log/messages	このディレクトリには、オペレーティングシステムのログファイルが格納されます。これらのログに記録されたエラーは、Grid Manager にも表示されます。サポート * > * ツール * > * グリッドトポロジ * を選択します。次に、* Topology * > * Site * > * Node * > * SSM * > * Events * を選択します。	すべてのノード

カテゴリ	ファイル名	注：	にあります
NTP	/var/local/log/ntp.log /var/lib/ntp/var/log/ntpstats/	<p>/var/local/log/ntp.log NTPのエラーメッセージのログファイルが格納されます。</p> <p>/var/lib/ntp/var/log/ntpstats/Directoryには、NTPタイミング統計情報が格納されます</p> <p>loopstats ループフィルタの統計情報を記録します。</p> <p>peerstats には、ピア統計情報が記録されます</p>	すべてのノード

bycast.log について

ファイル `/var/local/log/bycast.log` は、StorageGRID ソフトウェアのトラブルシューティングに使用する主要なファイルです。が `bycast.log` ファイルを選択します。ファイルに、そのグリッドノードに固有のメッセージが含まれています。

ファイル `/var/local/log/bycast-err.log` はのサブセットです `bycast.log`。ERROR と CRITICAL の重大度のメッセージが含まれています。

必要に応じて、監査ログのデスティネーションを変更したり、監査情報を外部 syslog サーバに送信したりできます。外部 syslog サーバが設定されても、監査レコードのローカルログは引き続き生成および格納されます。を参照してください "[監査メッセージとログの送信先を設定します](#)"。

bycast.log ファイルのローテーション

をクリックします `bycast.log` ファイルが1GBに達し、既存のファイルが保存され、新しいログファイルが開始されます。

保存されたファイルの名前が変更されます `bycast.log.1`` をクリックすると、新しいファイルの名前がになります ``bycast.log`。新しいとき `bycast.log` 1GBに達しました。 `bycast.log.1` が圧縮されて名前がに変更されます `bycast.log.2.gz`` および ``bycast.log` の名前がに変更され `bycast.log.1`。

の回転制限です `bycast.log` は21ファイルです。の22番目のバージョン `bycast.log` ファイルが作成され、最も古いファイルが削除されます。

の回転制限です `bycast-err.log` は7つのファイルです。



圧縮されたログファイルは、ファイルが圧縮された同じ場所に解凍しないでください。ファイルを同じ場所で解凍すると、ログローテーションスクリプトの妨げになることがあります。

必要に応じて、監査ログのデスティネーションを変更したり、監査情報を外部 syslog サーバに送信したりできます。外部 syslog サーバが設定されても、監査レコードのローカルログは引き続き生成および格納されます。を参照してください "[監査メッセージとログの送信先を設定します](#)"。

関連情報

"ログファイルとシステムデータを収集"

bycast.log のメッセージです

のメッセージ bycast.log ADE (Asynchronous Distributed Environment) によって記述されます。ADE は、グリッドノードの各サービスで使用されるランタイム環境です。

ADE のメッセージの例：

```
May 15 14:07:11 um-sec-rg1-agn3 ADE: |12455685      0357819531
SVMR EVHR 2019-05-05T27T17:10:29.784677| ERROR 0906 SVMR: Health
check on volume 3 has failed with reason 'TOUT'
```

ADE のメッセージには次の情報が含まれています。

メッセージセグメント	例の値
ノードID	12455685
ADE プロセス ID	0357819531
モジュール名	SVMR
メッセージ ID	EVHR
UTC システム時間	2019-05-05T27T17 : 10 : 29.784677 (YYYY-MM-DDTHH : MM : SS.ffffffffffff)
重大度レベル	エラー
内部追跡番号	0906
メッセージ	SVMR : ボリューム 3 のヘルスチェックが失敗しました。理由 : 「TOUT」

bycast.log のメッセージの重大度

のメッセージ bycast.log 重大度レベルが割り当てられている。

例：

- *notice *-- 記録すべきイベントが発生しました。ほとんどのログメッセージはこのレベルです。
- * warning * — 予期しない状態が発生しました。
- * error * — 操作に影響を与える大きなエラーが発生しました。

- * critical * — 異常な状態が発生し、通常の動作が停止しました。原因となった状態にすぐに対処する必要があります。クリティカルなメッセージは Grid Manager にも表示されます。サポート * > ツール * > * グリッドトポロジ * を選択します。次に、[* Site *] > [* Node *] > * SSM * > * Events * を選択します。

のエラーコード bycast.log

のほとんどのエラーメッセージです bycast.log エラーコードを含む。

次の表に、の代表的な非数値コードを示します bycast.log。非数値コードの正確な意味は、レポートされるコンテキストによって異なります。

エラーコード	意味
SUCS	エラーはありません
GERR	不明です
CANC	キャンセルされました
ABRT	中止しました
TOUT	タイムアウト
INVL	無効です
NFND	が見つかりません
vers	バージョン
会議	設定
失敗	失敗しました
ICPL	不完全です
完了しました	完了しました
SUNV	サービスを利用できません

次の表に、の数値エラーコードを示します bycast.log。

エラー番号	エラーコード	意味
001	EPERM	操作は許可されていません

エラー番号	エラーコード	意味
002	ENOENT	指定したファイルまたはディレクトリは存在しません
003	ESRCH	そのようなプロセスはありません
004.00	EINTR	システムコールが中断されました
005	EIO	I/O エラー
6、6	ENXIO	該当するデバイスまたはアドレスはありません
007	E2BIG	引数リストが長すぎます
008	ENOEXEC	EXEC フォーマットエラー
009	EBADF	ファイル番号が正しくありません
010	ECHILD	子プロセスはありません
011	EAGAIN	再試行してください
012	ENOMEM	メモリ不足です
013	EACCES	権限が拒否されました
014	デフォルト	アドレスが無効です
015	ENOTBLK	ブロックデバイスが必要です
016	EBUSY	デバイスまたはリソースがビジー
017	EEXIST	ファイルが存在します
018	EXDEV の場合	クロスデバイスリンク
019	ENODEV	該当するデバイスはありません
020	ENOTDIR	ディレクトリではありません
021	EISDIR	はディレクトリです

エラー番号	エラーコード	意味
022	EINVAL	引数が無効です
023	ENFILE	ファイルテーブルオーバーフローです
024	EMFILE	開いているファイルが多すぎます
025	ENOTTY	タイプライターではありません
026	ETXTBSY	テキストファイルがビジーです
027	EFBIG	ファイルが大きすぎます
028	ENOSPC	デバイスにスペースが残っていません
029	ESPIPE	不正なシークです
030	EROFS	読み取り専用ファイルシステム
031	EMLINK	リンクが多すぎます
032	EPIPE	パイプ破損
033	エドム	関数のドメイン外の数学引数
034	エスランゲ	数学結果は表現できません
035	EDEADLK	リソースのデッドロックが発生する
036	ENAMETOOLONG	ファイル名が長すぎます
037	ENOLCK	使用可能なレコードロックがありません
038	ENOSYS	関数が実装されていません
039	ENOTEMPTY	ディレクトリが空ではありません
040	ELOOP	シンボリックリンクが多すぎます
041		
042	ENOMSG	必要なタイプのメッセージがありません

エラー番号	エラーコード	意味
043	EIDRM	識別子が削除されました
044	ECHRNG	チャンネル番号が範囲外です
045	EL2NSYNC	レベル 2 が同期されていません
046	EL3HLT	レベル 3 が停止しました
047	EL3RST	レベル 3 リセット
048	ELNRNG	リンク番号が範囲外です
049	EUNATCH	プロトコルドライバが接続されていません
050	ENOCSI	CSI 構造がありません
051	EL2HLT	レベル2停止
052	EBADE の実行	無効な交換です
053	EBADR	無効な要求記述子です
054	EXFULL (完全)	Exchange がいっぱいです
055	ENOANO	アノードなし
056	EBADRQC	無効な要求コードです
057	EBADSLT	無効なスロットです
058		
059	EBFONT	フォントファイルの形式が正しくありません
060	ENOSTR	デバイスはストリームではありません
061	ENODATA	使用できるデータがありません
062	イータイム	タイマーが切れました
063	ENOSR	Out of Streams のリソース

エラー番号	エラーコード	意味
064	ENONET	マシンがネットワーク上にありません
065	ENOPKG	パッケージがインストールされていません
066	EREMOTE	オブジェクトがリモートです
067	ENOLINK	リンクが切断されました
068	EADV	アドバタイズエラー
069	ESRMNT	Srmount エラー
070	エコム	送信時の通信エラーです
071	EPROTO	プロトコルエラー
072	EMULTIHOP	マルチホップが試行されました
073	EDOTDOT	RFS 固有のエラー
074	EBADMSG と入力します	データメッセージではありません
075	EOVERFLOW	定義されたデータ型の値が大きすぎます
076	ENOTUNIQ	名前がネットワーク上で一意ではありません
077	EBADFD	ファイル記述子が無効な状態です
078	エルム変更	リモートアドレスが変更されました
079	ELIBACC	必要な共有ライブラリにアクセスできません
080	ELIBBAD 社	破損した共有ライブラリにアクセスしています
081	ELIBSCN	
082	ELIBMAX	リンクしようとしている共有ライブラリが多すぎます
083	ELIBEXEC	共有ライブラリを直接実行することはできません

エラー番号	エラーコード	意味
084	EILSEQ	不正なバイトシーケンスです
085	ERESTART	中断されたシステムコールを再開する必要があります
086	ESTRPIPE	ストリームパイプエラー
087	EUSERS	ユーザが多すぎます
088	ENOTSOCK	ソケット以外でのソケット操作
089	EDESTADDRREQ	送信先アドレスは必須です
090	EMSGSIZE	メッセージが長すぎます
091	EPROTOTYPE	ソケットのプロトコルタイプが正しくありません
092	ENOPROTOOPT	プロトコルを使用できません
093	EPROTONOSUPPORT	サポートされていないプロトコルです
094	ESOCKTNOSUPPORT の略	ソケットタイプはサポートされていません
095	EOPNOZ TSUPP	この処理は転送エンドポイントではサポートされません
096	EPFNOSUPPORT	サポートされていないプロトコルファミリーです
097	EAFNOSUPPORT	アドレスファミリーはプロトコルでサポートされていません
098	EADDRINUSE	アドレスはすでに使用されています
099	EADDRNOTAVAIL	要求されたアドレスを割り当てるできません
100	ENETDOWN	ネットワークが停止しています
101です	ENETUNREACH	ネットワークに到達できません
一〇二	ENETRESET	リセットのためネットワークが接続を切断しました
103	ECONNABORTED	ソフトウェアが原因で接続が終了しました

エラー番号	エラーコード	意味
104	ECONNRESET	ピアによって接続がリセットされました
105	ENOBUFS	使用可能なバッファスペースがありません
106	EISCONN	トランスポートエンドポイントはすでに接続されています
107	ENOTCONN	トランスポートエンドポイントが接続されていません
一〇八	ESH ダウンタウン	トランスポートエンドポイントのシャットダウン後に送信できません
109	ETOOMANYREFS	参照が多すぎます：接続できません
110	ETIMEDOUT	接続がタイムアウトしました
———	ECONNREFUSED	接続が拒否されました
112	EHOSTDOWN	ホストが停止しています
113	EHOSTUNREACH	ホストへのルートがありません
114	エアルレーダド	処理をすでに実行中です
115	実行中	処理を実行中です
116		
117	EUCLEAN	構造はクリーニングが必要です
118	ENOTNAM	XENIX という名前のファイルではありません
119 番	ENAVAIL	XENIX セマフォがありません
一二〇	EISNAM	は、名前付きタイプファイルです
一二一	EREMOTEIO	リモート I/O エラーです
122	EDQUOT	クォータを超過しました
一二三	ENOMEDIUM	メディアが見つかりません

エラー番号	エラーコード	意味
124	EMEDIUMTYPE	メディアタイプが正しくありません
一二五	ECANCELED	処理がキャンセルされました
126	ENOKEY	必要なキーがありません
127	エクイメピ RED も含まれています	キーの有効期限が切れました
128	エーケヨヴォエド	キーが取り消されました
129	EKEYREJECTED	キーがサービスによって拒否されました
130	EOWNERDEAD の場合	堅牢な mutex のため：所有者は死んだ
131	ENOTRECOVERABLE	堅牢な mutex の場合：状態は回復できません

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。